



# SESERAGI-MISHIMA Rotary Club

## Weekly Report

せせらぎ三島ロータリークラブ週報

2008~2009年度 RI会長 李 東建

RIテーマ **Make Dreams Real 夢をかたちに**

クラブ会長基本テーマ「20年の生業を基に、仲間を増やそう」

会長 大房正治 副会長 山梨一正 幹事 鈴木政則

### 第940回 例会

2009.2.13(金) 晴れ

司会：土屋巧君 指揮：遠藤正亀君

ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市大社町17-4

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会



撮影：山本章君

## 会長挨拶

### せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 大房正治君



確定申告の季節になってきました。世界的景気低迷で大幅に赤字転落の企業が続出と聞いておりますが、この機会に膿みを出し次のチャンスを狙うための準備期間かもしれません。大変な時代になってきました。昨今、腐りきった政治や詐欺や殺人が日常茶飯事に新聞やテレビ等を通して入ってきますが、今日は仄々（ほのぼの）とした新聞記事を紹介いたします。それはヒマラヤの小国ブータンです。インド・ネパール・チベットに囲まれた九州とほぼ同じ広さの国土に人口は66万人ですが、GNH（国民総幸福量）国民の90%以上のひとが「幸せ」と回答。30年ほど前、ブータンには金も人的資源もないという不安が大きく、当時の国王が「経済発展を目指すのはいいが、代償を払うのは望ましくない」と自らGNHを発案された。GNHは最近世界から注目されている。お金だけでは幸せにできないと気付いたからだろう。因みに日本は178カ国中90位で国内総生産（GDP）は日本の五千分の一の規模で世界の「最貧国」です。標高三千mの山岳地帯で電気普及率は約四割。絶滅危惧種のオグロヅル約三百羽がチベット～ヒマラヤを越えて飛来する。ツルが引っ掛かってしまうので電線が引けず、非力なソーラー発電しかない。どうしたら幸せになれるか？

チベット仏教の高僧が、静かに微笑んで答えた。「スローダウン（ゆっくりと）。自分も他人も追い詰めてはダメ。少し立ち止まってみては？」

「経済発展だけを重視すると文化や環境が破壊される。モノと心のバランスが大事。」

個人間、地域間の公平さも非常に重要。格差があれば社会は幸福にできない」

仕事をリタイアしたら、ブータンに一度行って見たいと思います！

## 幹事報告

幹事 鈴木政則君

1. 退会者のお知らせです  
松下充孝様が退会されました。  
2月6日の理事会で承認されました  
理由は「一身上の都合により退会させていただきます。」
2. 2月のガバナー月信が来ています
3. 各クラブより週報が来ています  
吉原ロータリークラブ  
沼津北ロータリークラブ  
新富士ロータリークラブ  
富士ロータリークラブ
4. 2月20日は親睦例会です  
三島駅 楽寿園より17時30分に送迎バスが出ます。

## 出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	36/40	90.00%	37/40	92.50%
今回	32/39	82.05%	会員総数	39名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

金澤さん、川村さん、保坂君、望月君、  
山上君、米山君、渡邊君

## おめでとう

会員誕生日	1月26日	澤田 稔君
	2月4日	内田憲一君
	2月19日	中村 徹君
入会記念日	2月15日	山梨一正君

## 😊 スマイルボックス

新井香さん：いつもお世話になります。

石井和郎君：娘がプロポーズされたそうで……。スマイルします。トホホ……

石井司人君：早退します。

内田憲一君：休みが多くてすみません。

片野誠一君：本日20周年の運営委員会を開催いたします。委員の皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。

澤田稔君：例会欠席がちで申し訳ありません。ロータリー精神に基づき、業界のために日本中を駆け回り、奉仕で貢献しております。

中村徹君：①10月28日、ドングリを植えたところ、2～3日前に2つに芽がでてきました。楽しみが増えました。②本日は誕生日のお祝いありがとうございました。19日で66歳になります。今後ともよろしくお願いいたします。

## 委員会報告

### 20周年実行委員会

委員長 片野誠一君

本日例会終了後、第4回運営委員会を開催します。関係者にご出席ください。

## ゴルフ同好会

第3回ゴルフ同好会コンペを3月22日（日）函南ゴルフ倶楽部で開催します。同好会メンバーの方は奮ってご参加ください。オブザーバーも歓迎いたします。

## 卓話

### クラブフォーラム「奉仕プロジェクト」

古屋憲男君

奉仕プロジェクト委員会は、地元および海外の地域社会を支援する教育的、人道的および職業奉仕プロジェクトを立案し、これを実行します。

#### ■奉仕プロジェクトの指針

奉仕プロジェクトの計画および実施にあたって系統だった方法を用いることで、倶楽部の資金やロータリアンの時間を適切に活用することができ、支援を必要としている人々に恩恵をもたらす奉仕プロジェクトを行うことができます。

1. 地域社会のニーズを特定するために外部査定を実施する。

社会奉仕を成功させるには、地域社会が現在直面している実際の関心事に取り組む必要があります。必要以上にお金をかけたり、仰々しいプロジェクトにする必要はありません。肝心なのは、実施の必要性があるということだけです。ニーズ査定を実施することにより、ロータリークラブが取り組むことのできる地域社会のニーズを特定することができます。

地域社会の主な懸念分野を特定するには、以下の各点を調査します。

- ・経済的状况
- ・地理的な位置
- ・教育面における長所と短所
- ・統計的特徴
- ・政情

外部査定や地域社会評価はまた、地域社会での支援源を発見し、クラブに協力できる地元団体を見極めることもできます。

2. 内部査定を実施します。

特定のプロジェクトがクラブ会員の技能や関心に適合するかどうかを検討してください。内部査定では、以下に焦点が当てられるべきです。

- ・奉仕プロジェクトに参加したい会員の数
  - ・海外の連絡先（クラブ会員または地区）
  - ・技能の多様性
  - ・今後のプロジェクトへの会員の関心度
  - ・利用できるクラブの支援源および資金
  - ・過去のプロジェクト経験およびそこから習得した教訓
- これらの要素を評価することにより、クラブに最も適した奉仕プロジェクトがどのようなものかが明確になります。

3. 国際ロータリーとロータリー財団の援助源を特定します。

奉仕プロジェクトの成功を確実なものとするために、クラブは資金、人材、情報源を必要とします。プロジェクト立案の際は、奉仕プロジェクトのアイデア、情報、財源としてR Iやロータリー財団のプログラムを検討します。

4. クラブが利用可能な財源を検討します。

多くのクラブは、奉仕プロジェクトを支援するために募金活動を行います。その他の財政的支援には、個人寄付および地元企業から募った資金、他財団からの補助金、ロータリー財団補助金などが含まれます。

5. プロジェクトを選び、計画を開始します。

プロジェクトの実行の前に、次の質問に教えてください。

- ・現在、クラブ会員はどのようなプロジェクトに参加しているか。
- ・プロジェクトの目標は何か。
- ・クラブと地域社会の誰が関与するのか。
- ・クラブは、プロジェクトの恩恵を受ける地域の人々とどのように協力し合うか。
- ・プロジェクトはいつ実施されるか。
- ・プロジェクトの実施場所はどこか。また、ボランティアは実施場所にどう赴くか。
- ・クラブは、なぜプロジェクトを実施するのか。
- ・プロジェクトの完遂には、どのような援助源が必要とされるか。
- ・クラブは、支援源が適切な形で用いられることをどのように確認するか。
- ・クラブは、プロジェクトをどのように推進するか。

上記の質問に対する答が、プロジェクトの行動計画に反映されます。プロジェクト実施中、全クラブ会員を継続的に関与させ、行動計画が遂行されていることを確認するために、常時活動を監督し続けます。

## 6. 評価を行います。

評価は、クラブの現在および将来の奉仕プロジェクトに重要な役割を果たします。完了した奉仕プロジェクトを評価するにあたっては、次の主要な質問を考慮してください。

- ・そのプロジェクトは、ニーズ査定によって判明した地域社会のニーズに応えるものだったか。「いいえ」と答えた場合、その理由は何か。
- ・クラブの全会員と地域社会の住民が参加する機会を得たか。
- ・財政的支援と実地活動への直接援助のバランスがとれていたか。
- ・プロジェクトは、報道機関によって十分に取り上げられたか。
- ・クラブの資金能力は、プロジェクトに必要な資金を賄うことができたか。

プロジェクトに参加したクラブ会員全員に、簡潔な評価報告を書くよう求めてください。評価から学んだ点は、他の奉仕プロジェクトに生かし、次期クラブ指導者および委員会委員が目標を設定したり計画を立てたりする際に応用します。さらに、評価報告書をR Iプログラム担当職員に提出するか、www.rotary.orgの「社会奉仕プロジェクト・データベース」に登録することで、世界中のクラブがプロジェクトの成功例として参照できるようにします。

### 次回卓話

2月20日（金）18時30分  
ガバナー補佐挨拶  
親睦例会



## PHOTO GALLERY

